



窪田弘子 議員

女性の管理職登用を

2020年までに課長以上の女性の割合を30%にするのが国の目標。政策決定には女性の視点が必要で、特に企画の段階には多種多様な発想が求められる。

池田町は正職員が156人、内一般行政職102人（女性25%）。臨時職員126人（女性91%）。その中で課長級以上は14人（全員男性）、課長補佐14人（1人女性）。住民サービスにはむしろ女性が適した場面も多い。町長に物の言える女性の幹部職員がいないという事は、町がとても損をしている事にならないか。

町長 能力のある職員は男女を問わず当然昇格させていく。ここ2、3年、家庭の事情で優秀な女性職員がやめていき、残念だ。

女性はなかなか仕事一本とはいかない。県の調査でも、現場で一番望まれている事は、短時間勤務と再雇用制度だった。民間は環境を整える努力をしているが、池田町も思い切った施策をとらないと取り残される。

町長 難しい問題だが前向きに取り組んで行く。

道の駅の評判は

事業費8億円で、施設管理費はこれから毎年かかる。期待しながら見守っている町民・お客さんの声を謙虚に聞き、検証を怠らず育てていけば、池田山・温泉・道の駅と大きな観光地域になり得る。私に聞こえてくる皆さんの声は、「あの設計は誰がやった！とか、議会はなんで通した！……」だが、町長への応は。

梅谷片山トンネルを出た南の高台は、なんとか地権者の方と話ししてもらって低く削り、交差点・道の駅が見通せるようにできないか。交通・眺望の面などメリットは大きい。

町長 懸案の所だが慎重に検討を加えていきたい。

町長 今までと違った道の駅を私の信念で造らせていただいた。皆さんからはお叱りやらよかったですねという言葉も聞いて、直せるものは直している。温泉を造った時かなりお叱りをいただいた。



梅谷片山トンネルを東へ出た所、右側（南）を低くしたら眺望が開けるのだが。

コミバス・温泉バスに乗ってもらうには

まず分かりやすい「バス停」の表示が必要だ。

町長 バスも3台になる。補助金が出るので、すべてのバス停に設置する。

